



2023年5月15日

各位

会社名 株式会社ゼネラル・オイスター  
代表者名 代表取締役社長 吉田 秀則  
(コード番号：3224 東証グロース)  
問合せ先 取締役 C F O 芝田 茂樹  
(TEL. 03-6667-6606)

### 「継続企業の前提に関する注記」の記載解消に関するお知らせ

当社は、本日付けで別途開示しました「2023年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

当社グループは、2017年3月期第3四半期連結累計期間において営業損失 369,714 千円、経常損失 380,939 千円、親会社株主に帰属する四半期純損失 606,901 千円を計上したことにより、2期連続となる大幅な営業損失を計上しました。従いまして、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在していました。

しかしながら、当該事象を解消すべく、持株会社の人員数の見直しによる経営合理化、不採算店舗の撤退、浄化センターの集約、店舗の DX 化による少人数で運営できる体制作り、店舗メニューの戦略的見直しや予約システム強化による客単価及び客数の改善及び加工事業の収益性改善等に取り組んでまいりました。

その結果、当連結会計年度において、営業利益 127,244 千円、経常利益 128,621 千円、親会社に帰属する当期純利益 138,102 千円を計上しました。また、新型コロナウイルス感染症による影響についても、政府が、当該感染症の位置づけを2類相当から5類相当に変更しており、収束しつつある状況にあります。従いまして、2024年3月期についても、外部環境等の改善から営業黒字を継続できる見通しであり、営業損失が継続する状況は解消したと判断しております。

また、前連結会計年度において、新株予約権が行使された結果、242,457 千円の資金調達が完了したことに加え、ネクスタ匿名組合及び阪和興業株式会社を割当先とする第三者割当増資 499,290 千円の払い込みが完了したことにより、財務基盤は強化されております。

このような状況を総合的に判断した結果、現時点において、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況は解消したと判断しております。

株主の皆様、取引先をはじめとするステークホルダーの皆様には、大変ご心配をおかけいたしました。今後も更なる業績及び企業価値の向上に努めて参りますので、引き続きご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い致します。

以上